



宮本理一郎 議員

### ●小・中学校の『いじめ』の実態は

**問** 7月に文科省が行った『全国問題行動調査』による本町の実態は。

**答** 教育長 小・中学校で1件ありましたが、その日のうちに解決。他はいじめと判断する程でなく、担任が指導し、解決しています。

供にも起こり得るといふ点です。わからないように隠れて潜在化する。先生方には、心の奥底まで見る目、いじめに関する発見の研修を実施しています。

**問** 『無いつから良い』訳でなく、むしろ表に出ない分、陰湿で悪質とも言える。組織的に早期発見、解決を図るべきであり、『多くて当然、むしろなぜこんなに少ない』と疑いをもって、先生方は対処して欲しい。これが危機管理ではないか。

**答** 教育長 私共の学校には、そんな事はないと信じており、報告はきちんと出ています。

**問** 『助けてください！』と声に出して言えない子どもが、声なき声で訴えている時、それに気づかない先生。つまり子どもたちとの間に温度差、思い違いという点はないか。

**答** 教育長 教師は常にアンテナを広げて、それを受け止められる様に心がける事や日頃から児童・生徒との間が親密である事が大切です。

**問** 文武両道は教育の理想です。有名進学校、スポーツ有名校ほど、いじめは少ないと言われるが、果たしてそうなのか。有名校が故に進学就職の問題から、不祥事を隠蔽、握りつぶしする事が多く、発表とは逆との指摘もあるが。

**答** 教育長 他の学校の事はわからないが、その様な事は、あつてはならない事と思います。

**問** 教師や学校の査定評価よりも子どもの生命の方が余程に重い。知識教育が優先し、人間社会教育が遅れがちと思わないか。

**答** 教育長 人間教育、倫理道徳を充実する事が大切です。

**問** 子どもは国を背負って立つ、大切な国有財産です。これを忘れず日々の教育に当たって欲しい。

**答** 町長 いじめ問題の第一責任は、校長以下、学校の責任であり、肝に銘じておくべきだと思います。



唐原小研究発表会



### ●農地の再編は ●河川改修の考えは

安元 慶彦 議員

### 大規模農家育成のため 農地の再編は

**問** 大規模農家育成のため、圃場の再編を構築すべきです。

**答** 町長 人・農地プラン※推進のため、各地区で説明をしています。その中で当然の事であり、ますが、規模拡大や小規模の皆さんに農地のやりとりなどについて説明をしています。一方では、基盤整備事業もまだ行われており改良区も終息をするため努力をしています。そのため今直ちに改めて大規模な基盤整備事業を行うという事は、少し時期が早すぎると考えられています。

### 豪雨に強い 河川改修の考えは

**問** 豪雨に強い河川改修を考へるべきと思うが、展望は。

**答** 建設課長 今回の豪雨により、各所から越流をしました。現況の写真を撮り、県にお願いしている状況です。ちなみに、町営河川については、準用河川が8本、普通河川が21本です。全ての河川を今年度中にまとめ、改修を含めて河川の管理計画を来年度以降策定します。災害に強い河川づくりを見直したいと思っています。

※人・農地プラン  
農業が厳しい状況に直面している中で、持続可能な力強い農業を実現するためには、基本となる人と農地の問題を一体的に解決していく必要があります。

このため、それぞれの集落・地域において徹底的な話し合いを行い、集落・地域が抱える人と農地の問題を解決するための「未来の設計図」となる「人・農地プラン（地域農業マスタープラン）」を作成しようとする、農林水産省の地域農業マスタープランです。



九州北部豪雨(山国川・葦尾水路)



5番 安元 慶彦